

「日本経済再生に向けた緊急経済対策」進捗管理シート(農林水産省)

| | | | |
|--|---|-----------------------------|---------|
| 対策の柱立て(大区分) | Ⅲ. 暮らしの安心・地域活性化 | 担当部局 | 生産局農産部 |
| 対策の柱立て(中区分) | 2. 地域の特色を生かした地域活性化 | | |
| 対策の柱立て(小区分①) | (3) 農業の体質強化など地域の特色を生かした地域経済の活性化と住みよい地域の構築の加速 | 担当課 | 穀物課 |
| 対策の柱立て(小区分②) | | | |
| 対策における施策の名称 | 農漁業の経営環境の変動に対する緊急対応: 飼料・燃料価格高騰対応、飼料穀物備蓄対策、鳥獣被害防止 | | |
| (事業名) | 経営環境の変動に対する緊急対応(大豆・麦等生産体制緊急整備事業) | 新規/既存 | ■新規 □既存 |
| 平成24年度補正予算額 | 334億円 | 一般会計/特別会計 (特会の場合には名称も記載) | 一般会計 |
| 事業の内容 (予算については、 予算の使途及び 予算を交付等する対象者 を明記) | 【事業内容】大豆・麦等の生産拡大を図るため、都道府県農業再生協議会に補助金を交付し、地域の実情に応じ、農業機械のリース導入、新品種への転換、ほ場条件の改善など、大豆・麦等の生産拡大のための取組を総合的に支援。 【事業実施主体】都道府県農業再生協議会、地域農業再生協議会 | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 貸付金 <input type="checkbox"/> その他(| | |
| アウトプット指標(進捗指標) | (アウトプット指標による目標) ・事業要望のあった43道府県の農業再生協議会が「都道府県実施方針兼基金造成計画書」を策定するとともに、当該計画書に基づき、平成25年3月末までに基金を造成。 | | |
| アウトカム指標(効果指標) | (アウトカム指標による目標) ・大豆・麦及びその他土地利用型作物の生産の拡大(24年産大豆・麦の生産量からの増加) * 24年産大豆の収穫量: 23.6万t、 24年産麦(小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦)の収穫量: 103万t | | |
| 事業の進捗状況 予算の執行状況 (進捗実績、 今後のスケジュール) | 6月1日時点 <p>国</p> <p>実施済(3月29日) (平成25年2月26日に各地方農政局長等に対して、予算全額を割当済。 平成25年3月29日において、対象となる全ての都道府県協議会に基金造成済。)</p> <p>都道府県農業再生協議会 (43道府県)</p> <p>一部実施(事業計画策定及び事業開始) 大豆・麦等の生産拡大に向けた事業計画を策定し、実施主体において事業を順次開始。 (平成25年5月15日時点で22県農業再生協議会で事業計画策定、平成25年6月末までに43道府県の農業再生協議会において、事業計画を策定予定)</p> <p>地域農業再生協議会、農業者等</p> | | |
| 執行早期化のために 講じている工夫 | ・様式をできる限り簡易化している。 ・事業実施主体で定める業務方法書書式例等を作成し、事業実施主体に周知している。 ・全国各地において、本事業の説明会を開催している。 ・事業計画策定を促進するため、計画内容にかかる全国会議を開催している。 ・事業の円滑な実施に向けて、各県からの要請等に応じ、追加説明会・情報交換会を開催している。 | | |
| 事業に関するURL (事業実施場所、補助先等) | http://www.maff.go.jp/i/seisan/nosan/daizu_mugi.html | | |